

令和4年度 事業報告

1 概 要

令和4年度のシルバー人材センターを取り巻く環境は、会員の高齢化や企業における雇用の延伸、また、新型コロナウイルス感染症の拡大等もあり、会員への就業制約で事業運営に大きく影響が出ました。

特に、屋外作業に携わる会員の減少が、草刈りや草取り作業、樹木の剪定、雪囲い作業や除雪作業に影響を及ぼしています。生涯現役社会の担い手として、地域の皆様から大きな期待が寄せられていますが、依頼があっても断らざるを得ない状況もありました。

4年度は、前「中・長期計画」の期間が終了し6年が経過したこともあり、令和8年までの「中期計画」を策定し、シルバー人材センターの目標を立てました。

また、津南町社会福祉協議会と同じ事務所内で業務を行っていた津南事務所を、個人情報保護の観点から新たな場所に移転し、中里地域も合わせて担当することになりました。

以下令和4年度の主な事業について報告いたします。

(1) 事業実績・就業実績

契約金額の総額は、4億135万7千円で前年度比5.1%、2,167万1千円の減になりました。請負・委任業務の総額は3億4,265万1千円で前年度比5.0%減になりました。派遣業務の総額は5,870万6千円で前年度比5.6%減でした。

発注先でみると、公共受託総額が1億1,350万9千円で、前年度比0.3%の減、件数は1,118件で10.3%減になりました。民間事業所受託総額は、2億4,012万6千円で前年度比3.7%の減、件数は2,309件で10.2%減でした。一般家庭受託総額は、4,772万2千円で前年度比20.1%の減、件数は3,484件で15.8%の減でした。就業延人員は、85,119人で前年度比7.3%、7,118人の減になりました。就業実人員は907人で前年度比4.8%、46人の減になりました。

今冬の小雪が影響した面もありました。

区 分	①4年度	②3年度	増減①÷②
実績の総額	401,357千円	423,028千円	▲5.1%
就業延人員	85,119人	92,237人	▲7.3%
就業実人員	907人	953人	▲4.8%

(2) 就業機会の拡大

コロナ禍ということもあり、関係機関との連携強化、役職員による就業開拓への取組みができませんでした。受注者の要望に応えるため、「庭木の剪定基礎講習会」「障子張り講習会」「新規雪囲い就業者技能講習会」を開催しましたが、今後は、就業先等の訪問による新規就業の拡大に努める必要があります。

(3) 会員数の拡大

令和4年度当初の会員数は1,159人でしたが、年度中の入会者が116人、退会者が149人で年度末の会員数は1,126人となりました。年16回の入会説明会や新入会員紹介謝礼制度の取組みなど入会促進活動だけではなく、退会者抑制方法についても検討する必要があります。

(4) 普及啓発活動の推進

十日町市、津南町の全世帯に年2回の広報誌「シルバーだより」と普及啓発促進月間の10月に独自チラシを配布しました。また、年4回新聞チラシの折り込みを行いました。10月にはホームページのリニューアルを行い、3月末までに16,646件のアクセスがありました。最も閲覧されていたサイトが「募集中の最新就業情報」の3,888件でした。今後も魅力あるページ構成に努めていきます。

(5) 安全・適正就業の推進

事故発生件数は13件（傷害6件、賠償7件）となり、前年度と同数になりました。安全パトロールにも力を入れていたところですが、注意喚起をさらに徹底していく必要があります。

7月には「安全・適正就業研修会」を3年ぶりに開催しました。福祉施設管理業務従事者接遇マナー講習会、地域別研修会も開催しました。新たな試みとして「体力測定会」や「高齢者が安心・安全に働くためのセミナー」「事故防止・体力維持運動指導会」なども開催しました。今後も、就業安全講習会に加え実施していきます。

(6) 組織体制の強化と財政基盤の安定化

津南事務所の移転を行うことで、事務所体制の改善を行いました。また、事業運営に大きくかかわっている「補助金確保」のため、十日町市長・津南町長へ助成依頼を行いました。今後も運営の基本となる財源確保や適正執行に努めます。